SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION

仙台市民交響楽団
第92回定期演奏会

Sendai city symphony orchestra The 92nd Regular Concert

ボロディン／歌劇『イーゴリ公』序曲

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

チャイコフスキー／交響曲第6番 ロ短調 作品74『悲愴』

指揮
水戸 博之

♪開演前に指揮者によるプレトークを開催致します。お楽しみに!

©Toru Hasumi

ピアノ
アレクサンドル・クリュチコ
（第9回仙台国際音楽コンクールピアノ部門 第2位）

2026.12.20 sun.

日立システムズホール仙台 コンサートホール
（仙台市青葉区旭ケ丘3-27-5 TEL.022-276-2110）

開場13：15 ● 開演14：00

●入場料（全席自由）／一　般　1,000円
高校生以下　500円

※料金は前売・当日とも一律です。当日券は12時15分より販売いたします。
※無くなり次第、販売終了となります。当日券のご予約・お取り置きは出来ません。
※本公演は未就学児のご入場をお断りします。

◆チケット販売日　オンライン　2026年10月11日(日)
プレイガイド 2026年10月26日(月)

●お問合せ　E-mail：sendaishiminkyo@gmail.com

- プレイガイド　藤崎・カワイ仙台・サンリツ仙台本店・日立システムズホール仙台・仙台銀行ホール イズミティ21
- オンラインチケット　チケットぴあ（Pコード：339-868）、ローソンチケット（Lコード：21804）、イープラス eplus.jp（WEB／アプリ／ファミリーマート店舗）

■主催／仙台市民交響楽団　■共催／公益財団法人仙台市市民文化事業団（仙台国際音楽コンクール事務局）
■後援／宮城県・仙台市〈R8文文文第105-79号〉・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会〈R8教生生第106-134号〉・TBC東北放送

仙台市民交響楽団 第92回定期演奏会

Sendai city symphony orchestra The 92nd Regular Concert

PROFILE

指　揮／水戸 博之　Hiroyuki Mito

1988年北海道江別市出身。東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）、同大学大学院修士課程を修了。在学中、井上道義指揮者講習会で優秀者に選抜。サントリーホール主催レインボウ２１デビューコンサートへ出演。指揮を広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、三河正典、加納明洋各氏に、ピアノを奥山優香、北島公彦、米田栄子、野田清隆各氏に師事。また、下野竜也、井上道義、ピエタリ・インキネン、モーシェ・アツモン各氏のマスタークラスを受講し薫陶を受ける。

大学卒業後はアシスタントとして広上淳一、川瀬賢太郎、山田和樹氏の下で研鑽を積む。また、2016年にはNHK交響楽団より当時の首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントコンダクターとして任命され、同楽団の公演に携わった。

これまでに国内の主要オーケストラと数多く共演し、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などに客演。東京混声合唱団、新国立劇場合唱団との共演も多く、定期演奏会やオペラ公演の合唱指揮として定期的に出演する他、2024年には東京混声合唱団のヨーロッパツアーに帯同し、モナコ、フランス、ルクセンブルクの３都市にてアカペラコンサートを指揮。新聞紙上などで高い評価を得た。

現在、東京混声合唱団常任指揮者を務めている傍ら、東京音楽大学指揮科、東京音楽大学付属高校の講師として後進の指導にも当たっている。

ピアノ ／ アレクサンドル・クリュチコ　Aleksandr KLIUCHKO

アレクサンドル ・クリュチコは2000年生まれのロシア人ピアニスト。6歳からサランスク第６児童音楽学校でピアノの勉強を始め、７歳で初めてのソロリサイタルを行う。2015年から2019年まで、モスクワ国立ショパン音楽大学にてセルゲイ・アルシバシェフに師事。

2019年から2021年までパリ・エコール・ノルマル音楽院にてレナ・シェレシェフスカヤに師事し、ディプロマを取得。その後モスクワ国立チャイコフスキー音楽院でパーヴェル・ネルセシアンに師事し、2026年卒業。

ラフマニノフ国際コンクール、バルセロナのマリア・カナルス国際ピアノコンクール、パロマ・オシェア・サンタンデール国際ピアノコンクール、仙台国際音楽コンクールなど、数々の国際コンクールで入賞を果たしている。

これまで、ロシア、ヨーロッパ、日本各地の主要なコンサートホールで演奏し、また、一流のオーケストラと共演している。共演した指揮者には、ワレリー・ゲルギエフ、ウラディーミル・スピヴァコフ、高関健らがいる。

仙台市民交響楽団について

1969年（昭和44年）10月、在仙高等学校の生徒有志を中心に仙台ユース・シンフォニー・オーケストラとして発足。指導者の交代、団員の減少等による幾度かの消滅の危機を乗り越え、新田 孝先生（現：名誉指揮者）により活動団体としての礎を築いて頂いた。1990年（平成2年）、仙台市民交響楽団に名称を変更。

1997年以降は、各方面から客演指揮者を迎え、また仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーをトレーナーとして迎えるなど、ますます発展を遂げている。当団では、仙台市が掲げる「楽都仙台」の実現に向け、市民レベルで音楽文化の向上につながるよう、そして市民が音楽のすばらしさを実感し、音楽によって暮らしの中に潤いを感じられるよう、多くの皆様にその機会を提供していきたいと考えている。

活動としては、年に2回の定期演奏会の実施。他に、在仙の合唱団、仙台国際音楽コンクール入賞者との共演や、市民センター等の依頼演奏等。2019年に創立50周年を迎え、記念演奏会の開催および記念誌を発刊。

2008年及び2013年10月、仙台クラシックフェスティバルに出演。2012年1月、七ヶ浜コンサート開催、2012～2021年3月11日、南三陸町追悼式典での献奏及びBGM演奏等（※2020年はコロナウイルス感染症拡大のため式典演奏中止）、その他福祉施設にてメンバーによる出張演奏等。

2015年8月、平成26年度宮城県芸術選奨受賞。 2017年10月、平成29年度宮城県「文化の日表彰」受賞。ウィーン・フィル＆サントリー音楽復興祈念賞（2016年11月第5回、2022年6月第10回）受賞。

2024年11月、創立55周年記念演奏会を開催。

★最新情報は、当団HPまたはSNSでご確認お願いいたします。

仙台市民交響楽団WEBサイト	Facebook	X(旧Twitter)	Instagram
https://shiminkyo.jimdofree.com/	https://m.facebook.com/shiminkyou/	@sendaishiminkyo	@sendaishiminkyo

★ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい★　仙台駅から市営地下鉄南北線・泉中央方面行き10分、「旭ヶ丘駅」下車、東1番出入口より徒歩3分。